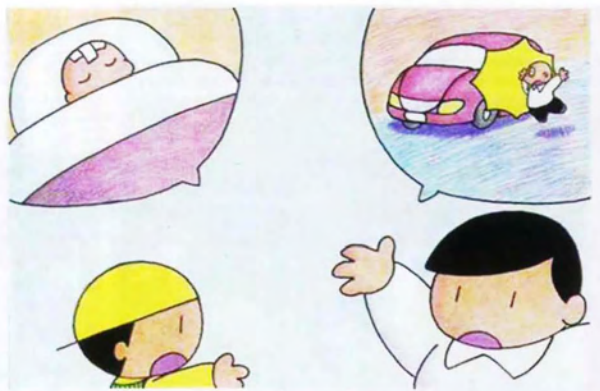


大田区	江東区	長野市	相模原市	平塚市	八王子市	児玉郡	秩父市	越谷市	宇都宮市	藤岡市	高崎市	八王子市	福生市	杉並区	飯田町	八王子市	横濱市	渋谷区	町田市	さいたま市	小平市	羽生市	狭山市	八王子市	練馬区	豊島区	藤岡市	相模原市	立川市	高尾山報助成金志納者御芳名
近藤隆明	秋葉三重子	篠原玉江	田中謙一	小川ミツエ	山本珠美	相馬シズ江	松吉和子	半田秀夫	吉澤秀夫	山後榮治	脇野昇	八王子市	草野清	原島修	小島光	岡原光	佐藤文一	椎名友一	佐藤政記	藤崎工博	高間里子	小峰亨	福塚里子	金林鐘一	吉田和實	田中實	能満尊子	廣瀬尊子	小野浩平	八王子市
秩父郡	足利市	葛飾区	世田谷区	松本市	横濱市	加須市	八王子市	東大和市	松戸市	東村山市	さいたま市	八王子市	本庄市	加須市	南都留郡	川越市	八王子市	西東京市	いすみ市	川越市	三鷹市	大和市	所沢市	入間市	川口市	西東京市	狭山市	三鷹市	宮城	宇佐美
山口昭二	須藤サト子	永山亮司	小野あき波	藤井幸平	馬橋英代	内田靖博	佐藤英子	大宮繁子	土橋美恵子	大島忠彰	木下忠彰	高橋清	寺本米代	坂本芳弘	佐藤フジ	高橋フジ	馬場俊一	岩瀬雅隆	島田雅代	長田吉雄	学校法人柏木学園	伊藤惣一郎	三反田實樹	鶴野アキ	土屋宏也	渥美和也	龍埜建設	宮城菊太郎	宇佐美紀子	
狭山市	相模原市	狭山市	戸田市	八王子市	厚木市	東松山市	北区	伊東市	青梅市	目黒区	八王子市	加須市	横濱市	長岡市	伊勢崎市	西多摩郡	熊谷市	八王子市	市川市	比企郡	神戸市	蓮田市	八王子市	板橋区	所沢市	国分寺市	杉並区	朝霞市		
(順不同・敬称略)	根岸由洋	菩提鍼灸院	小林徳三	船木金次郎	設楽芳子	坂爪美枝子	山喜一郎	篠田喜一郎	阿久津健弘	大川弘幸	水野好子	湯浅隆志	坂本隆志	森谷佳子	丸山正信	重田嘉一	中山重雄	江添秀雄	荻原時次郎	西村千恵子	小林雪江	熊澤清次	星千代子	菅沼千代子	上野モト子	矢嶋佐和子	高木俊雄	田博士	織田秋子	

### おはなし散歩道

八王子市 清宮朋樹



おじいちゃんが交通事故で入院したという知らせがあったのは、金曜日の夜のことでした。

この春、ゆうとの新しいランドセルを持ってあそびに来たけれど、千葉のおじいちゃんです。

お父さんが、「車でおいまに行こう」

つばの形をしたおふだで、前の車にもはってあったものです。「ねえ、お母さんも電車の方がいいと思いませんか？」

ゆうとは、台所であらいものをしているお母さんに聞いてみました。

「お父さんが車ついでうんだから、車でいいじゃない」

「えーっ、ぼくが電車の運転がしたいと思うよ。ねえ、電車でいいよ」

「お父さんの運転ならいいよ。うふよ」

「おねがい！」

ゆうとはしつこくたのんでみましたが、お父さんもお母さんも、けっきょく「うん」とはいつくれませんでした。

「あしたはちょっと早く出るから、もうねなさい」

お父さんにそういわれ、ゆうとはしかたなく二階へあがつていきました。

次の日の朝です。

「おーい、そろそろいこうぞー！」

げんかんで、お父さんが呼んでいます。

「はい！」

台所の方から、お母さんの返事が聞こえてきました。

ゆうとは部屋をとびだして

階段を駆けおりていきます。

「ねえお父さん、これ見て！」

「なんだなんだ？」

「ぼくが作った高尾山のおふだだよ」

そのおふだは、画用紙をみじの形に切りぬいて作ってありました。オレンジのクレヨンで、きれいにぬられています。

「まんなか黒い字で、「たかおさん」と書いてありました。」

「すごいな。本物のおふだみたいだ。この下は、なんて書いてあるんだ？ ……こうつうあんぜん、か」

「うん」

「なるほど。これがあれば安心して走れそうだ」

お父さんは、ゆうとの頭を「ごしごし」となでてくれました。

二人でさつそく、車の窓にはりつけます。風でとんだらしにように、車の中からセロテープでいねいにはりつけました。

「あら、いいのができたわね」

後から出てきたお母さんも、ほめてくれました。

「ぼくあとね、これも作ったんだよ」

ゆうとは、ポケットから



もう一まいもみじふだを出して、お母さんに見せました。

「だったら、そっちもはってあげばいいじゃない」

「ちがうよ、これは車用じゃないんだ」

「じゃあなんなの？」

「おじいちゃんのだよ。ほら見て」

ゆうとは、もう一まいのもみじふだを、お母さんにさしだして見せました。

「こっちは、早くお母さんより、つかいてあるんだ」

ゆうとはそういって、ニコリとしました。

(おわり)

### 高尾山

### 四季の草花

山紫陽花(ヤマアジサイ)

42

ユキノシタ科・アジサイ属



山で咲くアジサイから名前があります。沢筋を好んで生える事から「サワアジサイ」の別名があります。

「アジサイ」の名前は藍色の花が集まったものを意味する「あずさあ」（集真書）が転訛したものと云われています。紫陽花の字を宛てますが、これは韓名で白楽天の詩の中から引用されたようですが不明です。

アジサイは日本原産の落葉低木です。枝先に散房花序を出し、中心部には小さな両性花を多数付け、その回りに長い柄がある装飾花を数個付けます。装飾花は文字通り飾り花で萼が発達したもので種子は出来ません。

高尾山では殆ど白色ですが、全国的には紫色、淡紅色など変異が多い。葉は対生で長さ十センチ前後の長楕円形をし、先端は細長く鋸葉になっています。

(撮影・文 中村 毅人)